

(5) 主要花きの入荷と価格の見通し

仙台市中央卸売市場 花き市場

(電話) 232-8123

【切花類の概要】

今年は台風等の自然災害の影響は少なく生育状況は概ね順調ですが、夏場の猛暑の影響で定植が遅れた産地や10月以降も気温が高く生育が前進している品目があり入荷状況はまちまちです。運賃、燃料費、資材費の高騰を受け生産量の減少や年内出荷の遅れが見受けられ年明け出荷になっている生産者も多く、国内物に関して年末需要期は少ないことが予想されます。さらに、輸入品は輸送状況の改善が見られコロナ以前の状況に戻りつつありますが、品目によっては品薄が懸念されます。全体的に注文価格の上昇から注文数量、一般買参人の購入数量の減少が懸念されます。入荷のピークは12月25日(月)と予想されます。年始は前年並みの入荷は見込まれますが、それ以降は前年より少ない入荷で推移することが予測されます。

【品目別】

キク	輪菊は宮城・栃木・静岡・愛知・福岡・熊本・宮崎・長崎・沖縄産です。猛暑の影響から定植が遅れた生産者もいることから、入荷数量は減少傾向にあります。また、人気のクラシックマムやディスパットマム系の作付けは増えており豊富な品揃えが期待されます。スプレー菊は宮城・栃木・愛知・鹿児島産で、現状は順調な生育状況です。輸入スプレーマムの動向は不透明です。小菊は沖縄産中心となります。栽培面積は前年並みですが、台風による被害は少なく順調な生育となっています。輪菊とスプレー菊に関しては上位等級が少なめです。12月中旬から入荷は増えますが、上位等級品の入荷のピークは12月22日でその後は減少します。価格は上位等級品を中心に堅調な相場が予想されます。
バラ	宮城・山形・栃木・静岡・愛知産中心の入荷となります。国産は例年並みの入荷が見込まれますが、輸入品は少なめです。猛暑の影響で今年は上位等級が少ないことが予想され12月20日以降は引き合いが強くなり、上位等級を中心に高値相場が予想されます。年始以降は燃料代の高騰で暖房費を抑える傾向にあることから、入荷は少なめで推移し価格は前年並みが予想されます。
カーネーション	宮城・栃木・愛知・長崎産中心の入荷となります。大輪系、スプレー系とも猛暑の影響で若干の遅れがみられるため、前年より草丈は短いものの出荷量が多いことが予想されます。品質は前年並みを予想しています。輸入品はコロンビアと中国産中心に前年並の入荷が見込まれます。年明け以降は業務需要中心となり前年並みの価格が予想されます。
松	茨城産中心の入荷となります。10月中旬以降は安定した天候が続いており、切出し、選別作業が順調に行われていますが、夏場の猛暑や干ばつで定植間もない苗の枯れや接ぎ木した品種に影響が見られます。若松は草丈が短めで下位等級が多くなり、120cm以上の1等品は少なめで、前年並みの価格が予想されます。根引松、五葉松などの特殊系は前年並みの高値相場が予想されます。
千両	茨城・千葉・静岡産中心の入荷となります。今年は実付きが良く上位等級中心の入荷となります。量販店からの引き合いの強い3等品は少なめです。価格は2等品と3等品は前年並みで1等品は前年より安めの相場が予想されます。

【鉢物類の概要】

11月以降はシクラメン、ポインセチア、シンビジューム等中心の入荷となっています。記録的な猛暑の影響により約半月の生育遅延が生じています。12月上旬はお歳暮商戦に向けた高品質なものが多く入荷します。価格は燃料費や資材費の高騰から注文単価は値上げされています。年末年始はヒアシンス、チューリップなどの球根類とポリアンサやオブコニカ等のプリムラ類や、サイネリア・マーガレット等の早春の草花類中心の入荷となります。価格は前年並みが見込まれます。

【品目別】

シクラメン	岩手、宮城、福島、茨城、栃木、群馬、千葉産中心の入荷となります。猛暑の影響で約2週間の生育の遅れが出ています。入荷のピークは11月下旬から12月上旬になり、5寸、6寸の同時出荷となる産地が多く、かなりの入荷増となることが予想されるため、価格は弱保合で推移する見込みです。
シンビジューム	山梨・愛知・埼玉・栃木産中心の入荷となります。猛暑の影響で約半月程度の生育の遅れが見られます。12月上旬から本格的な入荷となりますが、夜温が高く寒暖の差が少なかったことで立ち本数が少なめで、3~4本立ち中心の入荷となります。価格は2~3本立ちなどの低価格の物の引き合いは強くなると思われませんが、4~5本立ちの引き合いは弱く、厳しい相場となると思われれます。